

回光返照

齊藤大馨

新年あけましておめでとうと
言います。本年もよろしく御指
導御協力の程をお願い申し上げ
ます。皆様御健勝をお祝ひ申
し上げますと、今年も
よい日々でありますように念じ
あげます。さて年頭にあたり一
言申し上げて置きます。

回光返照とは、自分の過去を
ふり返って見まして、将来のな
すべきことを気をつけることと
あります。私も、今年六十に
近い年齢を重ねて、ここに新年を
迎えますが、思えば、人なま
に年改めれば元日は過ぎた。た
うな心持がします。これも回光
返照の一端であります。いつも
申すことですが、一体何
が改まり、又、何が芽出たの
か、自らふり返って考えてみ
ます。門松も遠来山も、お雑
煮も、年々歳々何の変わりもな
いようです。が、若し自分に要
求するものがあつたら、見るもの、
聞くもの、憂えとなるのであ
ります。この時、何処にお芽出
たいものがあるでしょうか。

心から大きく見ゆる初日の出
で、つまり我が本心に響きのな
いのが芽出たのであります。
こう考えるのも回光返照であり
ます。願わば、六十才に近い年

は、何処へ行ったのか跡方もな
く、ただ、旧い顔毛が
うすくなり、禿山の如き頭頂海
波のシワをよせた顔、何処に新
しいものが芽出たのかこれも
回光返照であります。今まで何
をしてきたか、これとして仕事
らしいものは何もない。

自分に願わば、おぼろかしい
ことばかりであります。

起き出で今朝も思えば大方
は、きのうのこの悦しきかな
であります。かく思ひますのも
あります。

回光返照であります。

人間の一生は、春夏秋冬の四
季と同じであります。百年の時
を保つとしましても、私の如き
は初秋を過ぎ秋風涼爽である
と返照すれば、今後は一体
何をなすべきであるか、社会の
ためその片すみで、身を捨てて
勤めを怠らぬこそ我が本分であ
らうかと、来る年を送迎
する除夜の鐘をならしつゝ考え
ました。これ、私の回光返照
であります。五十、六十は一生
の収穫の時でもあります。

起き出で清き心を磨く間も
寝るものといつかはなすべきと
正しき道を求め、進むべきで
あります。これ回光返照であり
ます。

少年時代は、人生の春であり
ます。草の芽はえの如く勢い
に乗ってグングン伸びるは伸び
るが、その伸びる方向がわから
ない、ただ、向うみすに遠く足
もとサッパリわかれ危険な
時代であります。又、伸びる力
はありますが、独立の力がほ
ぼありません。それ故に、父兄
や先生方の氣配が大切でありそ
の氣配に、よく回光返照させる
ことが最も肝要であります。特
に少年は、生きとし生けるもの
の中に万物の靈長と生れて来た
勝恩縁を忘れず、根本に有難い
両親、祖先、社会の御恩によ
って生かされているものである
ことを生かされているものである
ことを生かされているものである
ことを生かされているものである

ことを忘れさせてはなりません
更に言ひ添ふべきは、少年が
少年らしく、学成り難しの
身の上を忘れぬようにして、他
日の成功を脚下に踏みしめて誠
心を取り外さぬように家庭、社
会、一体となって新年の目標の
一つとして、夢を眼にしていま
します。

たいものです。凡そ人間の一生
は、この回光返照によって、各
自の本分を保つてゆくことが出
来るものであります。年々、日
始め、月の始め、年の始めの元旦
に當って先づいて、回光返照
することが最も大切なことであ
ります。

大泉
員力
きく
ミチ
閑史
梢陽
一枝
玉泉
井の蛙
福一
えつお
土牛
春柳
井ノ川正
勝
おの江
源子
田記
何を告げるか、さくさく寒風

市之越部落

市之越に行かねばならぬと
思うようになった。

部落には冬期分校がある。
これは市之越と藤羽の二、三
年生を対象とし、冬期間だけ
一名の先生を過し、中学生は
立つてきた。

昔は市之越には「よめをく
れるな」といわれた部落で
あったが、今開港されたつ
ある部落の姿を良く見てほし
い。年頃のむすめさんならば
一市之越に行かねばならぬと
思うようになった。

秋は紅葉を愛しもうと学童
達の遠足がつき、昔は木ノ
葉、わらび、ぜんまい等の山
菜取りがマイカーで入り、冬
は冬で大自然を利用したスキ
ー、スキー等、学童から年輩
者まで年間を通じて、楽しめ
る所もある。今年の秋には
一枚のトラクター、コンバ
ン等の大型機械も導入され、
市之越には一足先近代化農
業が実現し、稲穂は豊作と、重
く頭をたれることである。

(市之越)

新春俳句大会
拾蔵

氏名 年令 部落

村山 藤江 (五八) 宮中
山本 政吉 (七五) 山崎
鈴木 ムメ (八六) 下山
江口 弘水 (〇) 上山
喜井 一郎 (五一) 市之越
山本 三郎 (七二) 上山

初光あまねし心晴れ登る
馬になり米粒拾う三ノ日
淑氣満つ車掌乗てゆく歌を告ぐ
かしわ手一両自慢の刻の初詣
一と目つづき生きて八十路年の
軒下の干菜に顔う曇る
艶失せと妻は手馴れの機初め
尾根根根が輝き展け初日いま
風呂の煙が生ける証(あかし)
の寒い星 田記
何を告げるか、さくさく寒風

私たちの村	
人口	8,029
男	3,959
女	4,070
世帯数	1,713
1月1日現在	



年頭のあいさつ
中里村長 高橋 幸作

里、地方財政の効率的かつ健全
運営が必要であることは言うま
でもありません。

一方農政に対しても、皆さん
も知ってのとおり米の作付転換
対策や、食糧制度の運用改善問
題等が上げられて居りますが、
こうした中で、私としては、
以前から申しているように、米
産(養蚕)と、園芸等
総合所得の増大を目標として、
今後の計画を立てたい次第であ
ります。その中では、言うまで
なく、構造改善事業、大きくは
苗圃山ろく開拓パイロット事業
と進んで行くものであります。

福祉国家の理念が憲法の中に
あるように、行政の分野も国民
生活のあらゆる面に拡大しつづ
けてきている今日、農政も国民
経済の成長と共に、あらゆる
問題はありますが、小さいながら村も
制約ある財政規模のなかで成果
を十分上げていくと思ひます。

昨年はこれと書いた災害もな
く、無事と書けば無事、計画が
進み過半の災害復旧も全へ
て完了を見ようとしたに居
り、重ねて皆様の御協力に敬意
を表する次第であります。

今後はこうした余力をより一

何とあれ、村政にたずさ
わる私達は、つねに、村の発展
を望み、その振興対策について
今後いっそう積極的推進して
いきたいと考えています。みな
さんのご協力をお願い申し上げ
る次第であります。

昭和四十四年の輝かしい新春を
迎え、一言申しあげ皆さんのご
健康をお祈りし、祝辞いたし
ます。

県立高田養護学校生徒募集
知能が保たれていて、普通の
学校では教育が困難な小中学生
を教育することを目的とする学
校で新潟県が特別に選定したも
ので、卒業すれば、義務教育が終
ったことになる。

全県一区から、この地域
の生徒も入学できます。経費も
国、県からの補助がありますの
で、父兄の負担は少なくて済み
ます。

県立高田養護学校生徒募集
知能が保たれていて、普通の
学校では教育が困難な小中学生
を教育することを目的とする学
校で新潟県が特別に選定したも
ので、卒業すれば、義務教育が終
ったことになる。

全県一区から、この地域
の生徒も入学できます。経費も
国、県からの補助がありますの
で、父兄の負担は少なくて済み
ます。

村民娯楽大会

1月19日中里村公民館で

年賀状のあ
としまつ

①年賀状の交換を機会に住所録
をつくりましょう。
②郵便番号は住所の一部とお考
えいただき、住所録にも必ず書
き加えましょう。受取った年賀
状の差出人の郵便番号を控えて
おくを便利です。

第151号
発行所
新潟県中里村公民館
毎月一回 15日
定価 1部 5円

その農政問題を考えるとき、
国の四十四年度予算案編成を
前に、今後の地方公共団体の財
政のきびしい状況、どう対処す
るか補助金削減や、交付税問題
等数多くの注目をひくものがある。

その農政問題を考えるとき、
国の四十四年度予算案編成を
前に、今後の地方公共団体の財
政のきびしい状況、どう対処す
るか補助金削減や、交付税問題
等数多くの注目をひくものがある。

その農政問題を考えるとき、
国の四十四年度予算案編成を
前に、今後の地方公共団体の財
政のきびしい状況、どう対処す
るか補助金削減や、交付税問題
等数多くの注目をひくものがある。

その農政問題を考えるとき、
国の四十四年度予算案編成を
前に、今後の地方公共団体の財
政のきびしい状況、どう対処す
るか補助金削減や、交付税問題
等数多くの注目をひくものがある。

その農政問題を考えるとき、
国の四十四年度予算案編成を
前に、今後の地方公共団体の財
政のきびしい状況、どう対処す
るか補助金削減や、交付税問題
等数多くの注目をひくものがある。

その農政問題を考えるとき、
国の四十四年度予算案編成を
前に、今後の地方公共団体の財
政のきびしい状況、どう対処す
るか補助金削減や、交付税問題
等数多くの注目をひくものがある。

